

会 議 録

会 議 名	令和 8 年度第 1 回 辰野町図書館協議会
開 催 日 時	令和 8 年 7 月 8 日（水） 午前 9 時 00 分～10 時 15 分
場 所	辰野町立辰野図書館 2 階会議室
出 席 者	委員 6 名中 6 名、教育長、館長、事務局 2 名
会 議 次 第	1. 開会のことば 2. 委嘱状交付 3. 教育長あいさつ 4. 自己紹介 5. 会長選出 6. 会長あいさつ 7. 協議事項（進行 会長） 1) 令和 7 年度図書館利用状況 2) 令和 8 年度蔵書点検結果報告 3) 令和 8 年度図書館事業について 4) その他 8. その他 9. 閉会のことば
会 議 結 果	7. 協議事項（進行 会長） 1) 令和 7 年度図書館利用状況について 2) 令和 8 年度蔵書点検結果報告 3) 令和 8 年度図書館事業について 4) その他 事務局から一括説明し、質疑を経てご了承いただく。
発 言 者	発言の内容
教 育 長	皆様改めましておはようございます。 令和 8 年度第 1 回目の図書館協議会ということでお集まりいただいた。 ただいま委員の皆様に委嘱状を交付させていただいた。新しい委員もいる。 これから 2 年間お世話になりますが、よろしくお願いしたい。 さて、この図書館は昨年度、ちょうど戦後 80 年ということで、戦争と平和について考える様々な企画イベントを提供していただいた。それにより町民に平和の尊さ、あるいは戦争の理不尽さを訴える、そんな題材を多く提供していただいた。 これで今年以降どうしていくか。確かに太平洋戦争は 80 年前に終結をしている。しかし、戦争がもう歴史の 1 ページとして綴ってしまっているような状況ではない。最近の状況として、あちこちで紛争が起こっている。そうすると、まだまだ平和の尊さや戦争の理不尽さというものを、この機会を通じて訴えていかなければいけない、そんな使命が図書館にもあるのではないかと思っている。 さて今年の 5 月、図書館活用講座が開催された。参加された方の感想をいくつか紹介させていただく。よく図書館について正確に捉えてくれてる、そんな感想が寄せられた。 「紙の本でしか味わえない質感や世界があることを知ることができた。電子書籍と異な

	り、図書館だと、見て触れて感じられる。新しい本との出会いがあり魅力的。また、地域の資料や歴史も深く知ることができるのも、図書館の利点だと思う。」 「今まで図書館は本を借りたり読んだり休んだりする場所として利用してきた。今回講座に参加し、いろいろな書物や郷土資料が幅広く取り揃えられていることを知った。さらに職員の方々が用意してくださったおすすめ本などもあり、気軽に本や文学の世界に入ることができる。将来の職になるかもしれない司書についても学ぶことができ、今までにない知識を得ることができた。」 「図書館は本を借りるだけでなく、情報収集や学習など様々な場面で活用できる場であることを知った。図書館はただ本を読むだけの場所ではなく、歴史や文化などについて学べる場所であることがわかった。普段あまり見ることはない資料もあり、とても心惹かれた。これからは積極的に図書館を活用していきたい。」 「図書館は飲食できる場所もあり、たくさん勉強したい人にとって、とても優しい環境だと思った。」 まだまだあるが、図書館の役割・使命をよく捉えてくれていた。 また、この5月末には辰野中学校2年生が職場体験学習で2名来てくれた。そのときの感想も見させていただいたが、似たようなことが書いてある。 やはり実際に図書館に来て、そして関わってみることで、図書館の持つ役割などをしっかり掴んでいただけたのではないかな。 今年もこのような期待に応えられる辰野図書館でありたいと思っている。 お世話になります。よろしくお願いします。
会 長	今回、会長を仰せつかりました。よろしくお願いします。 私この夏で実は後期高齢者にいよいよなる。本当は少しでも若い方に引き継いでいかなければと思っていたが、仰せつかりましたので精一杯やらせていただきたい。 先ほど、教育長さんのご挨拶の中にも、利用者の嬉しいお声を伺った。 何度かこの席でも発言させていただいたが、この辰野町は人口もどんどん減ってきて、いろんな意味で厳しい状況にある。そんな中で、図書館それから美術館その他文化的な施設が、他の大きな都市比較しても決して引けを取らない内容の文化施設がある。その他に、委員の中にもボランティア活動などを行っている方もいらっしゃるが、読書活動、合唱のサークル数がこの町は多い。大きなイベントも続いている。 私は図書館については若干手前味噌な部分もあるが、この町の文化的施設、文化活動は優れていると思っている。 そんな町の中で、図書館のお手伝いができることは幸せだと感じている。 皆様の力を借りながら、精一杯務めさせていただく。よろしくお願いします。
事 務 局	(協議事項を一括説明)
会 長	説明を受け、質問や意見等あるか。
委 員 A	分類別蔵書について、「地域資料」と「郷土」と分かれているが、どのような違いがあるのか。
事 務 局	1階のレファレンスコーナーにある地域資料と、2階の郷土室にある地域資料がある。明確に分かれているわけではなく、重複してしまっている部分がある。

委 員 B	2階に置いてあるものは、一般の人は見れないのか。
事 務 局	2階にある「閉架書庫」と「郷土室」の資料については、職員が持ってくるようになっている。
委 員 B	1階に置いていない資料について、職員に聞かずに諦めてしまう方もいるのではないのか。番号を見て自分で探してみるが見つけれないこともある。その場合に、職員の手を煩わせてしまうのではと考えてしまう。
事 務 局	職員に気軽に聞いてもらえるとよい。調べると場所が分かるが、ためらう方もいるかもしれない。 新しい本を入れると、その分抜かなければ書架がいっぱいになってしまう。 辰野図書館に所蔵がない資料でも、他の図書館から取り寄せることもできるので、気軽に相談してほしい、ということを広報していかなければいけない。
委 員 A	本を除籍する基準はあるのか。
事 務 局	明確な基準はない。 本来は、新しく買った冊数分除籍をしないと、本は増える一方。辰野図書館のキャパシティーは65,000～70,000冊。現在キャパオーバーしている状況。 情報が新しくなった場合に古い情報のものを除籍しているが、除籍作業について頭を悩ませている。
会 長	貴重な個人的な資料の永久保存の状況は。 辰野中学校では毎年矢島良幸さんが講演されている。矢島さんの貴重な日記などがある。そうしたものをどこかに保存して、必要な場合に閲覧できるようにしてほしい。 仮にそのような貴重な個人資料をどこかできちんと保存すべきだとなった場合、図書館としてどのような対応ができるのか。
館 長	図書館や美術館で寄贈を受けるか、町の文化財調査センターで預かるのか、そのような選択がある。もし寄贈していただけるのであれば、いずれかの場所でお預かりする。
会 長	多くの人に、特に若い人が閲覧できるように、図書館がいいのではないかと個人的には思っている。
委 員 A	辰野町として古文書の保存状況は。 最近は蔵をつぶす人が多く、古文書がたくさん出るが、整理する人がいない。また、貴重な資料なのかも分からない。そのような状況で、あちこちで古文書が出ても廃棄されている。
事 務 局	教育委員会の文化係で、ひとまずすべて集めている。 古文書があれば連絡を、と広報はしている。連絡があればすべてもらってきている。 整理は追いついていないかもしれない。
委 員 A	そのことを知らない人が多く、古文書が貴重資料だと考える人も少ないのではないのか。広報をしなければならないのでは。
委 員 B	カスタマーハラスメントはないか。
事 務 局	現状は落ち着いている。
委 員 B	カスタマーハラスメントに対する条例などは辰野町にはあるのか。

館長	条例はないが、カスタマーハラスメントに対する宣言を町長の名前で出している。それに基づき対処している。
会長	迷惑行為も含めて、必要があれば共有をしてほしい。 図書館の外の花壇の件。花壇の管理をしてくれるボランティアの募集をかけてほしい。花を選んで植えたり、草取りをしたりしてほしい。保育園の子どもたちに花を植えてもらうのもいいかもしれない。検討してほしい。 熱心な協議をありがとうございました。以上で協議事項を終了します。

閉 会